

「データとの対話S」(商)  
「情報処理II」(経)  
「情報処理特論I」(法)

(C言語によるプログラミング入門)

担当 斎藤博昭

プログラミングとは

- コンピュータ用の**プログラム**を作成すること
- **プログラム**は「どういう手順でどういう計算(処理)をするかを細かく書いた指令書」
- いろいろなプログラミング言語がある  
(この授業では**C言語**を使います)

## 方針

- C言語を使ってプログラミングの初歩を学ぶ（秋学期は春の続きとなる）
- （一応）プログラミング初心者が対象
- 出席は取らない予定ですが、休まないでください
- 教室で自分でプログラミングする
- 難しい数式は出てきません

3

## 教科書・参考書

- 特定の教科書は使いません  
（しばらくしたら、自分にあったものを購入することを勧めます）
- 授業の資料は  
<http://www.nak.ics.keio.ac.jp/class/hc/index.html>  
に置きます

4

## 評価

- 「**レポート2回または3回 + 確認試験**」に基づいて評価します  
確認試験は持込可の筆記で7月？  
(7月16日か？ 予告します)
- 単位を取ることは難しくないが、評価Sは大変だろう
- TAさんも来るので、疑問点はこの教室で解消してください

5

## 環境

- この部屋のパソコンに入っている Visual Studio 2015 を使います  
(無償版もあるので、家のパソコンに入れるといいでしょう。わたしは Visual Studio Express 2015 for Windows Desktop というものを入れました)
- 来週から授業をするので、慶應ITCの windows アカウント (uaやubで始まる) に入れるようにしておいてください

6

## Visual Studio を使わない人へ

- Macを持っている人は、すでに入っているC言語処理系 (Xcode?) を使うとよいでしょう。  
(詳しくはTAの飯田さんに聞いてください)
- Cygwin など で gcc を使ってもいいです